

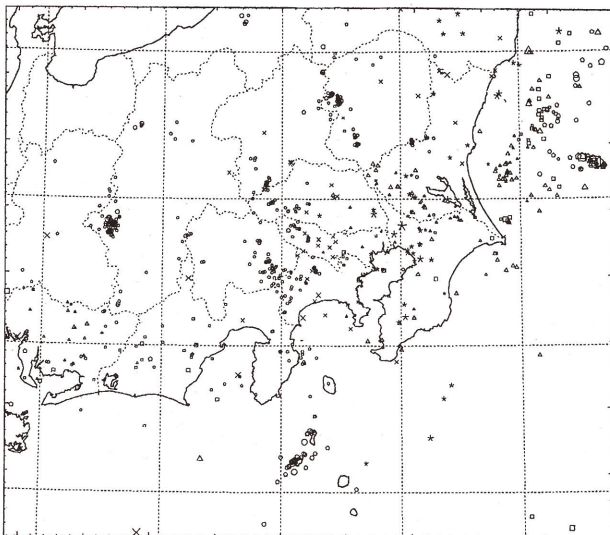
地震の際に、それまで続いていた掛川の沈降が一時逆転した記録がある、とされており、これから藤井は、東南海地震の発生は東海地震の出現を若干遅らせる効果をもたらした可能性がある、と述べている。図4に表れた地震活動の推移は、この主張を支持するものであると考えられる。

(地震予知研究センター 松村正三)

#### 4月の地震活動

マグニチュード(M)4以上の地震は全部で7個観測された。これらのうち1個は東海沖深さ350km以深に発生した地震、1個は知多半島北部深さ389kmに発生した地震、3個は茨城県沖深さ15~22kmに発生した地震、1個は福島県沖深さ50kmと福島県東岸深さ84kmに発生した地震である。その他の地震は、千葉県北西部の地震(10日15時01分、深さ70km, M4.0)である。

茨城県沖では、4月6日から8日にかけて浅い地震が群発し、24個の地震が観測された。このうちM4以上の地震は3個(6日M4.9, M5.0, M4.7)であった。神津島・新島付近では4月4日頃を中心に群発地震活動が活発化し、33個の小・微小地震が観測された。最大地震はM3.4であった。長野県西部の群発地震が観測された。このうち、最大地震はM3.0(25日)の地震であった。



#### 人事異動

5月9日付 辞職 (5月10日付け 宇宙開発事業団) 石橋倫幸  
 5月10日付 配置換 管理部庶務課長 武井恒雄  
 出向 航空宇宙技術研究所管理部  
 会計課長補佐 吉楽 正  
 昇任 管理部会計課専門職  
 関 健二

#### 国際交流

5.7~5.15 杉 正人(気圏・水圏地球科学技術研究部気候変動影響評価研究室長) モンスーンの予測に関する国際会議に参加するため (イタリア)  
 5.8~5.22 大谷 圭一(防災総合研究部長) 第26回UJNR耐風耐震構造専門部会参加及び日米共同研究打ち合わせ (アメリカ)

#### 主な来訪者

4月5日(火) JICA「自然災害研究管理」  
 研修生(ペルー)  
 科学技術庁初任者研修生  
 4月8日(金) 海洋科学技術センター  
 初任者研修生  
 4月13日(水) 新潟県小千谷中学校生徒  
 4月26日(火) 科学技術庁研究開発局  
 藤田宇宙国際課長  
 4月28日(木) 建設省北陸技術事務所(長岡)

編集兼 防災科学技術研究所  
 発行 〒305 茨城県つくば市天王台3-1  
 TEL (0298) 51-1611(代)

(再生紙使用)